

がもうだから2

—くらしの中にあるお宝発見—



表紙 朝桜中学校美術部

—発行—
わいがや支え合い蒲生
蒲生地区まちづくり協議会
蒲生あかね福祉の会
2022年3月発行

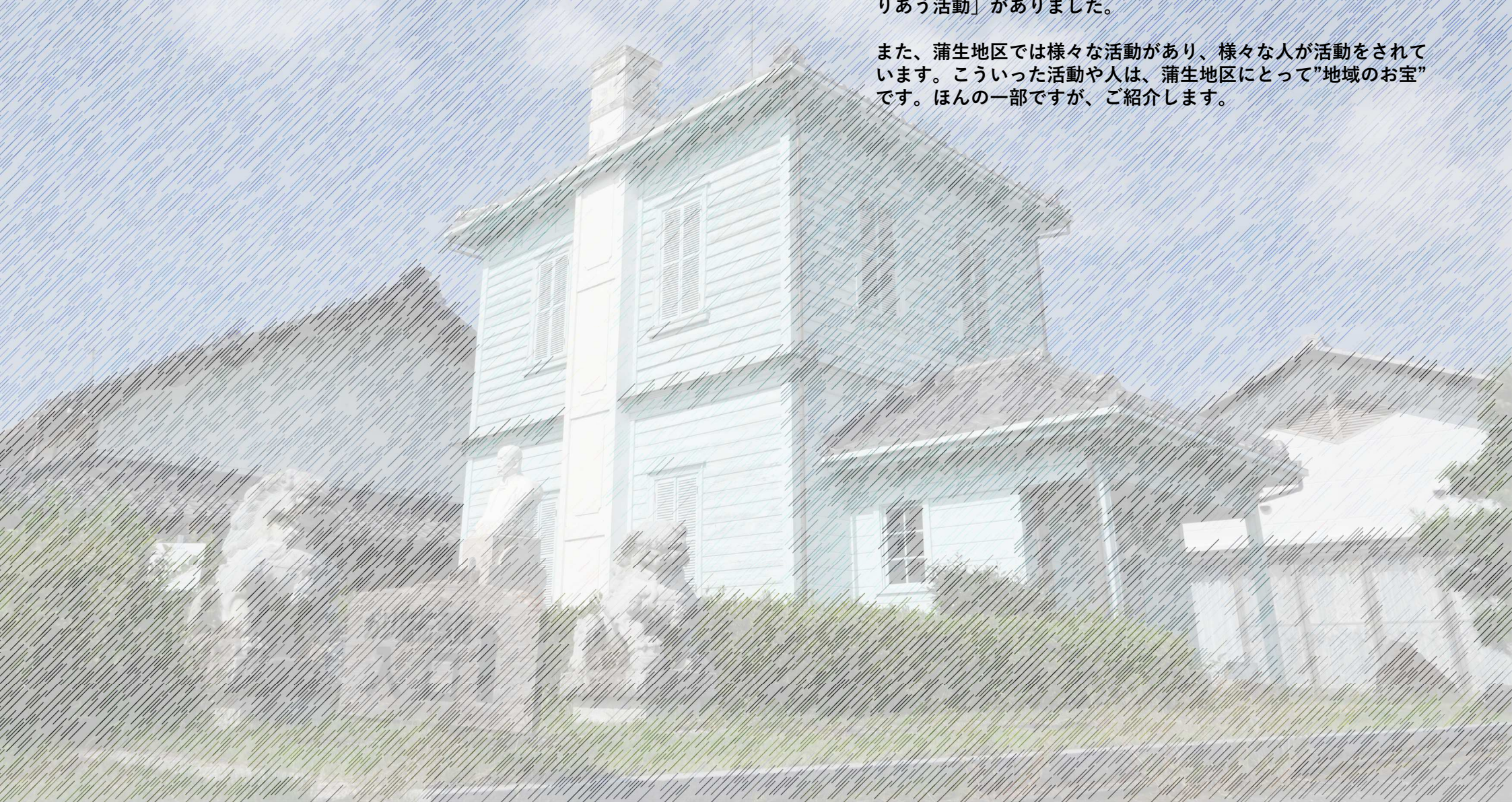
この冊子は、東近江市生活支援体制整備事業の委託を受け作成しています

心豊かに住み続けたいと思えるまちがもう

人とのつながりや見守り・支え合いのきっかけとなる集いの場がたくさんあります。しかしコロナ禍において、暮らしが変わりつつあります。そのような中で、改めて今まで当たりまえに集まり、おしゃべりしていたことの大事さに気づきました。

「これまでどおり」にはなかなかいきませんが、今できる工夫をしながら集いの場が続けられていたり、集えないけれどつながりを絶やさない取り組みをされたり、蒲生にはたくさんの「つながりあう活動」がありました。

また、蒲生地区では様々な活動があり、様々な人が活動をされています。こういった活動や人は、蒲生地区にとって”地域のお宝”です。ほんの一部ですが、ご紹介します。





第2層協議体 『わいがや支え合い蒲生』



誰もがいつまでも住み慣れた地域で、元気で、イキイキと、自分らしく暮らしていけるよう、地域みんなで支え合える地域づくりを目指しています。

メンバーが、地域のお宝を発見し、地域の現状や課題等を共有、また互いの強みを活かし、蒲生地区に必要な取り組みやしくみづくりなどをワイワイガヤガヤと話し合っています。

また、「あかね福祉プラン」を策定し、ふくしのまちづくりをすすめています。



日 時：毎月1回 19:30～21:00
チームごとの打合せ(随時)
場 所：東近江市社会福祉協議会蒲生事務所せせらぎ
メンバー：蒲生あかね福祉の会、まちづくり協議会、民生委員・児童委員、コミュニティセンター、(一社)がもう夢工房、学校地域コーディネーター、生活支援サポーター、ヘルパー、デイサービス職員、ケアマネージャー、助産師、まちづくりネット東近江、市社会福祉協議会、市役所

蒲生地区のふくしのために、こんな思いで協議体に参加しています！

綾 康典さん



長年にわたり『子ども』関連の活動を中心にしてきたため、『福祉』という視点で考えたことはありませんでした。『福祉』=『高齢者』と考えていたかもしれませんが、この第2層協議体に関わらせていただき、福祉に対する考え方が大きく変わりました。“困っている人”だけが福祉の対象ではないこと。これが一番気づいたことです。地域に住んでいる方すべてを見守ることが福祉の基本なんだと・・・

この第2層協議体『わいがや支え合い蒲生』を、もっと知っていただけるよう活動に力を注いでいきたいと思ひます。

下野 澄子さん



『わいがや支え合い蒲生』が始まって2年が過ぎました。コロナ禍で思うように集まれず、計画していた事が思うように進まず、不安や不満が募る時もありました。が、人はやはり人と繋がっていたいものである・・・と強く感じることもできました。

人と人が繋がりがあい、いつまでも誰もが暮らしやすい蒲生地区であり続けるために、メンバーの一員として、“心は密に”を座右の銘に、少しでもお役に立ちたいと考えています。

取り組み紹介♪

1. 第3次住民福祉活動計画「あかね福祉プラン」の策定と推進



「心豊かに住み続けたいと思えるまち蒲生」をめざして、蒲生地区に住むみなさんからの思いや願いをお聞きました。その声をもとに、『蒲生らしい福祉のまちづくり』として、みんなで取り組みたいことを「あかね福祉プラン」に示しました。みなさんもできることから始めましょう！

2. 集いの場・暮らしの資源の発見と見える化

令和2年度に発行し、全戸配布をしています。地域活動や、暮らしに役立てて頂ける情報を掲載しています。



3. 医療・福祉の専門職による出前講座

蒲生地区には、福祉や医療の専門職がたくさんおられます。その方々が、地域のサロンやイベントなどへ出向き、レクリエーションや健康講座ができるように考えています。

地域のみなさまへは「こんな出前講座が出来ますよ!」といった一覧表を作成予定です。是非、楽しみにしてください。

4. 人材の発見 活躍の場づくり

蒲生地区にはたくさんの住民が暮らしています。誰でも「〇〇が得意」「〇〇するのが好き」や「〇〇できるよ」ということがあると思います。みんなの「好き」「やれるよ」をどんどん発見していきます。

そして、みんなの「やってみいな」や「できるよ」を持ち寄れる拠点づくり、人が集う場として『わいがや@せせらぎ』をオープンしました！次のページをご覧ください。



みんなの拠り所 『わいが屋@せせらぎ』



みんなが気軽に寄り合って、なんでもゆっくり話せる拠り所として、令和2年12月にオープン。

蒲生の皆さんの「できる」「やってみたい」という声を応援し、気軽に、楽しく過ごせる場です。誘い合っても、お一人でもぜひ、みなさんお立ち寄りください！「せせらぎ」がみんなの拠り所になればと思っています。

日時：毎月第3木曜日 13:30～15:00
場所：東近江市社会福祉協議会蒲生事務所 せせらぎ
内容：様々な催しをしています！

*開催日時・内容については、「広報がまチョコ」(毎月20日発行)やポスター(支所、郵便局等)に掲載しています。チェックしてくださいね。

この看板が目印!



出演者さんにお話を聞いてみました!!



歌声サークル

がもう組さん

物語の始まりは桜川西町の『王将』から。旧蒲生町在住の皆さんが、自分たちでできることで「地元に貢献したい」と音楽グループ「がもう組」を結成されました。今年で8年目を迎え、地域のイベントや老人会、福祉施設などで200回を超える演奏をさせていただきました。「歌で元気を届けたいと活動していますが、いつも元気をもらっています」と話される姿がとても印象的でした。

現在、蒲生の7割の自治会で演奏をさせていただきました。『全地区で演奏ができれば』と思っておられます。

ご依頼はQRコードまたは、電話にてお問い合わせ下さい。
☎090-3676-3070
担当:西川さん



インタビュー：社会福祉協議会

折り紙
ボランティア

寺島 春三さん



日本折紙協会の認定講師の資格を持つ寺島春三さんは、幼い頃から折り紙に興味を持ち地道に努力をされてきました。

コロナ禍で活動場所が減っていることから、今回のわいが屋@せせらぎへの出前講座を依頼。寺島さんからは「喜んでさせていただきます」とのお言葉をいただき、開催することが出来ました。

参加者からは「とても楽しかった」との感想がありました。寺島さん自身も「開催できて嬉しかった」と言っていました。コロナ禍で開催機会も少なくなっています。「ご依頼があればできる限り行きます」とのことでしたので、よろしくお願います。

インタビュー：東田

一緒に歌ったり、演奏したり♪ 音楽を楽しむ日



親子で楽しい思い出を♡ 季節の楽しい行事



健康について楽しく学ぼう📖 健康体操



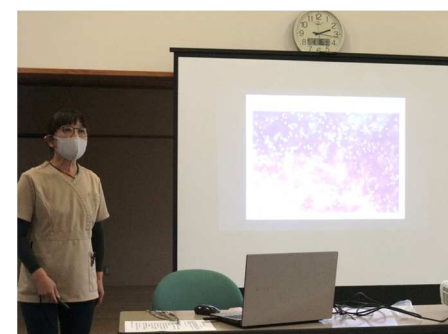
頭と身体を動かそう ニュースポーツ



淹れたてコーヒーはいかがですか☕ 応援塾によるコーヒー



健康について楽しく学ぼう📖 助産師による命のお話し





生活支援サポーター 『おたがいさん蒲生』 人財バンク



蒲生に暮らす人の「ちょっと助けて」「困っているけど、頼れる人がいない」などの声に、その人の暮らしがより豊かになるように、お話し相手や通院、買い物の送迎などの活動を令和元年3月からスタートしました。

毎月行う定例会にて、ご相談があった方の担当などを、サポーター同士で話し合っています。『おたがいさん蒲生』の名称のように、「助ける」という一方通行ではなく、「助け助けられ」の気持ちを大事にしています。

「ちょっと助けてほしい」「サポーターになりたい」、蒲生地区のたくさんの方の声をお待ちしております。



日 時：毎月第3火曜日 19:30～21:00
場 所：東近江市社会福祉協議会蒲生事務所せせらぎ
ホ-ル：16名
連絡先：(専用携帯電話)
090-1138-3495
(東近江市社会福祉協議会蒲生事務所)
0748-55-4895
0505-802-2528



～利用をきっかけに、プチ同窓会へと発展～

令和3年の秋、私のところに一人暮らしのA子さんのケアマネージャーさんから、おたがいさん蒲生の『お話し相手』のご依頼がありました。ちょうどその頃、別件で一人暮らしのS子さんから『お話し相手』のご依頼も受けておりました。

A子さんと普段の暮らしぶりなどお話ししていると、S子さんのお話が出てきました。話を伺うと、S子さんとは女学校時代の同級生で、10年前まではよくバイクに乗って、家に来てくれたとのことでした。しかし、免許を返納されてからは出会えていないと話されていました。

A子さんに了解をもらい、このことをS子さんにお話ししました。今度一緒にお話し会をしませんか？とお尋ねしたところ、手を叩いて喜ばれました。その後、毎月1回、S子さんをA子さんのご自宅に送迎し、1時間程度のお話し会をしています。ひよんなことからできた“お話し会”。ちょっとしたお助けが、二人の月1回のお楽しみにつながっています！



担当コーディネーター：大塚



おもちゃ図書館 『たんぽぽくらぶ』



おもちゃ図書館『たんぽぽくらぶ』は、木のおもちゃや手作り布おもちゃ、すべり台、ボールプール、ままごとなど、子ども達が大好きなおもちゃがたくさんあり、気に入ったおもちゃは借りて帰れます。

ボランティアの皆さんが、子ども達の遊びを温かく見守ってくださるので安心です。また、ボランティアの皆さんが季節の行事を開催します。みんなで工作したり、季節の歌を歌ったり、手遊びや本の読み聞かせもあります。みんな楽しんで時間を過ごしています。気軽に遊びにきてくださいね！



日 時：毎週金曜日 10:00～11:30
場 所：東近江市社会福祉協議会蒲生事務所
せせらぎ 東近江市子市川原町676
連絡先：0748-55-4895
0505-802-2528
対 象：市内在住の未就園児と保護者
行 事：5月・・・こどもの日
7月・・・七夕まつり
10月・・・ミニゲーム大会
12月・・・クリスマス会
2月・・・節分ボウリング
3月・・・ひなまつり
活動者：蒲生地区ボランティア連絡協議会
蒲生地区更生保護女性会
※コロナ感染対策の為入場制限や行事など変更になる場合があります。

蒲生地区ボランティア 連絡協議会会長 山崎 成子さん



せせらぎで開催していますおもちゃ図書館『たんぽぽくらぶ』は、毎週金曜日の午前10時より、0歳児から未就学児を対象に行っています。子どもさんが自由に、のびのび遊ぶ場所です。

平成8年より始め、現在まで続いています。季節ごとにイベントも行っています。

子どもたちが好きなおもちゃを見つけて、そのおもちゃを離さず持って帰る姿や、無邪気に遊ぶ姿を見てこちらも元気をもらっています。

コロナ禍ではありますが、皆様おいでください。お待ちしております。





自治会のつどいの場



蒲生地区では、自治会ごとにサロンや抛り所創造事業で、つどいの場や交流の場があります。

サロン・福祉活動

NO	サロン名 福祉委員会名	自治会名	主な会場
1	鑄物師町いきいきサロン	鑄物師町	鑄物師公民館
2	ふれあいの会	蒲生岡本町	
3	上麻生福祉委員会	上麻生町	
4	下麻生いきいきサロン	下麻生	下麻生町公民館
5	大塚いきいきサロン	大塚町	大塚公民館
6	田井町あったかサロン	田井町	田井公民館
7	大森ふれあいサロン	蒲生大森	大森草の根ハウス
8	鈴町福祉委員会「さわやか会」	鈴区	鈴町公民館
9	蒲生堂町福祉委員会	蒲生堂町	
10	宮井いきいきサロン	宮井町	宮井町草の根ハウス
11	横山町あったかサロン	横山町	横山町公民館
12	合戸福祉の会	合戸町	合戸会議所
13	ほほえみサロン	市子沖町	市子沖公民館
14	おたっしゃ会	平林	燦燦ハウス
15	石塔一区ふれあいきいきサロン	石塔一区	石塔第一公民館
16	石塔二区福祉委員会	石塔二区	石塔公民館・花壇・グラウンド
17	綺田町福祉サロン	綺田町	綺田町集会所
18	蒲生寺町いきいきサロン	蒲生寺町	蒲生寺町公民館
19	桜川東ふれあいサロン	桜川東	桜川東草の根集会所
20	ふれあいきくらサロン	桜川西町	桜川西公民館
21	畑田	川合畑田	畑田公民館
22	川合東出福祉委員会	川合町川合東出	東出公民館
23	こいこいサロン	川合西出	西出草の根ハウス
24	本郷サロン	川合本郷	本郷会館
25	上本郷福祉の会	川合上本郷	
26	木村福祉サロン	木村町	木村公民館
27	稲垂福祉サロン	稲垂町	稲垂町公民館
28	赤坂団地福祉委員会	赤坂団地	赤坂団地集会所
29	東1福祉委員会	長峰東第一	
30	東2福祉委員会	長峰東第二	
31	長峰西区自治会	長峰西	
32	南区福祉部	長峰南	
33	長峰北自治会	長峰北	
34	チェリータウン自治会	チェリータウン	

※この一覧は、令和3年度に市社協の『サロン事業助成金』『サロン代替活動助成』と、蒲生あかね福祉の会の『地域福祉推進事業活動助成』を受けられた自治会・サロン名を記載しています。

抛り所創造事業

NO	サロン名	自治会名	主な会場
1	お互いさんのまちづくりの会	鑄物師町	鑄物師公民館
2	大塚町抛り所事業ワイワイ会	大塚町	大塚公民館
3	石塔一区ボランティアグループ	石塔一区	石塔一区公民館
4	ほっとサロンをすすめる会	長峰区	デイサービスセンター楓
5	抛り所「おぶさ」	桜川西	桜川西公民館
6	ほほえみ会	長峰東第一	長峰コミュニティセンター
7	抛り所（ほのぼの会）	長峰西	長峰コミュニティセンター
8	支え愛たい事業部	長峰東第二	長峰東地区
9	市子川原の「一休さん」	市子川原町	市子川原町自治会館
10	市子殿町 元気会	市子殿町	市子殿町自治会館
11	結いの会	葛巻町	葛巻町草の根集会所

※この一覧は、蒲生あかね福祉の会の『抛り所創造事業助成』を受けている(または受けられた)ところを掲載しています。

～活動紹介～ ほのぼの会(長峰西)



『集まるって良いよね』

コロナウイルス感染防止のため、なかなか行事が行えず、外での開催であればと令和3年12月にグラウンドゴルフ大会を開催しました。天気にも恵まれ、約30名の方の参加がありました。本当に久しぶりにみなさんに来て、ストレス解消と良い運動ができました。参加者からは「またやりたいね」の言葉をいただきました。

その後、またコロナの感染拡大により集うことが出来ませんでした。令和4年度は、ほのぼの会が順調に始まります様に願うばかりです。

ほのぼの会 一同



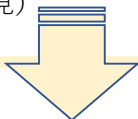
アンケート調査をしてわかったこと

コロナ禍で、なかなか開催できない状況ですが、工夫をされていること、集えないけれど、つながりを切らない工夫をされていることがありました。令和3年12月に福祉委員・抛り所創造事業の代表者にアンケートを行い、皆さんの声を聞かせていただきました。



-----《アンケートの質問内容》-----

- Q1, 令和3年度サロン活動を実施していますか？
- Q2, 「実施している」と回答された方にどのような内容ですか？
また、コロナ禍で工夫されていることはありますか？
- Q3, どのようなことが実施できない要因ですか？
(不安なこと、心配なことなど)
- Q4, その他(ご意見)



-----《実施しているサロン・抛り所 13か所》-----

◇工夫していること

- ・自由参加にし、缶ひろいや草刈り・奉仕作業
- ・会場での飲食をやめて、お弁当を持って帰ってもらう
- ・お茶はペットボトルと紙コップにしている
- ・お菓子は、個包装のものにしている
- ・屋外で体操をする、グラウンドゴルフをする
- ・サロンの写真や講演会をプロジェクターで映して見る
- ・ビデオ鑑賞や折り紙
- ・食品以外のお土産を渡す
- ・開催時間の短縮。短い時間で楽しめるゲームやビンゴを実施
- ・体力低下予防の運動や食事の講習
- ・外部からの講話などは、控えている



-----《感染対策》-----

◇気を付けていること

- ・入り口で必ずマスクの着用
- ・体温測定
- ・手指消毒、使う備品の消毒の徹底
- ・トイレにペーパータオルを設置
- ・席の間隔をあけて、同じ方向を向いて座る
- ・パーテーションを設置
- ・換気をする
- ・開催時間を短縮



-----《その他》-----

- ・サロンではないが高齢者から、車にも乗らず外食にも行けないので、好き寄りで構わないのでお弁当を食べたいという声があり、公園で実施



-----《実施していないが、見守り訪問等実施 18か所》-----

◇開催はしていないが代替えで見守り活動をしている

- ・品物を持って、声かけ、見守り訪問
お弁当、炊き込みご飯、お菓子、ケーキ、お茶、ジュース、マスク、マスクケース、消毒液、季節にあった品物、折り紙で折ったサンタクロース、鉢植え など
- ・サロンに参加されていない人も含めて、全員訪問
- ・月1回定例会を開催し、気になる方の情報を共有。見守り訪問なども実施



～活動紹介～

稲垂福祉サロン



『コロナ禍だから出来たこと』

コロナ禍で高齢者が家に閉じこもりがちにならないようにと外での活動を中心に開催してきました。また、高齢者だけでなく、子どもたちもあらゆる制限などでストレスを感じていました。そこで、サロンと子ども会と合同で開催し、世代間交流の場を開催することができました。

これからもWithコロナで、できる範囲で集いの場を継続していきたいと思っています。

稲垂町福祉委員より





-----《その他・ご意見など》-----

■コロナ禍で、開催できない原因

- ・安全第一
- ・対策をしていても、補償はない
- ・会場の広さがあっても、集まると密になってしまう
- ・感染への心配や不安
- ・感染すると高齢者なので、重症化が心配
- ・万が一感染者が出た場合、非難を受ける
- ・気軽に集まらない状況
- ・他の活動もないので、サロンだけ実施するのは難しい

■悩み、心配なこと…

- ・なかなか一步を踏み出せない
- ・再開を望む声も多いが、感染への不安も大きい
- ・参加者も、長いブランクで体が弱ってしまわないか心配
- ・このまま何もしないと、認知症などの発生につながる

■その他・ご意見

- ・できることをできる範囲で活動している
- ・コロナ禍でも人と出会い、話すことは大事
- ・一堂に会する「サロン活動」の利点のみ強調されるが、個人にきめ細やかに接する見守り活動が重んじられるべき
- ・一人暮らし高齢者や高齢者世帯は、不安な方も多いはず。人を集めるのではなく、ピンポイントの支援が必要
- ・Withコロナの方針で、新しいやり方も考える必要がある
- ・交流の場に参加できない方にも、平等にサービス提供できる方法も必要
- ・「コロナ禍で集まらないで」という発信もすべき

コロナ禍で、感染することは心配です。皆さんの安全、安心を考え、活動をストップすることも必要です。また、集まることはできませんが、見守り訪問等でつながりを切らない工夫なども生まれていることが、今回のアンケートで分かりました。

- 受付で参加者の体温・体調、連絡先の確認
- マスクの着用
- 会場の換気 *1時間に2回以上
- 定期的な消毒
多くの人が触れるもの（手すり、ドアノブ、テーブルなど）
- 手指消毒、手洗いの徹底
- 大声を出す機会を減らす工夫をする
・文字（紙）で伝える ・マイクを活用する
- 気温や湿度により、熱中症に気をつける
水分補給の声かけ 室温の調整

◆ 飲食を伴う活動の時

- 席の配置は、対面を避ける
- テーブルなど、直接触る場所の消毒
- 料理は、個別に配膳
- 茶菓は、個別包装されたものにする
- 食器、コップ、箸などは使い捨てやしっかりと洗剤で洗う
- ★ コロナ感染症の流行状況（ステージ）を確認し、状況（ステージ）によっては、飲食をやめるようにしましょう。

◆開催後

- 使用した物品の消毒
体温計 机 イス マイク
- 会場で多くの人が触れる場所の消毒
手すり ドアノブ スイッチ類